



おのえ

第16号

おのえ住民協議会 <小野江町396番地 TEL.0598-56-7506 (午前中のみ)> 2017.11.1

『あいさつ運動』を推進していきます！

“おのえ地域が、明るく、いきいきとしたまち”になるよう、『あいさつ運動』を推進していくために、小野江小学校高学年の児童の皆さんに、夏休み期間中、『あいさつ運動』看板のデザインを考え、描いていただきました。40点の作品の中から、地域の代表の方が中心となり、厳選な審査をしていただいた結果、以下の10点が看板に採用。今後、学校のまわりや各地域に設置されますので、ぜひご覧ください、おのえ地域があいさつで、元気なまちになることを願います。



山越 瑞月(東小野江)



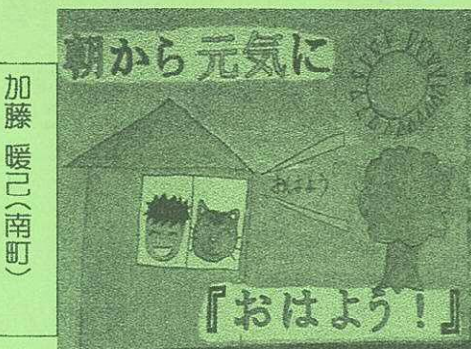
奥田 絢音(東小野江)



福山 実音(甚目町)



鈴木 貴太(甚目町)



加藤 暖己(南町)



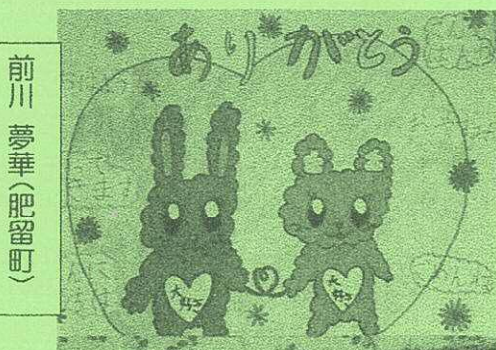
池山 大和(舞出町)



北川 大智(東小野江)



高瀬 梨央(東小野江)



前川 夢華(肥留町)



萩原 あんび(甚目町)

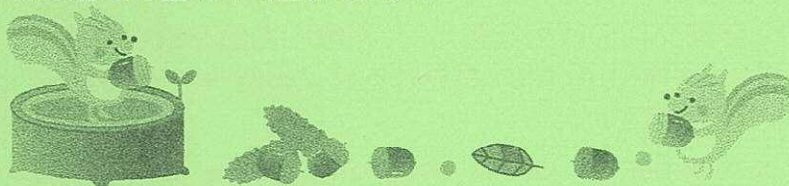
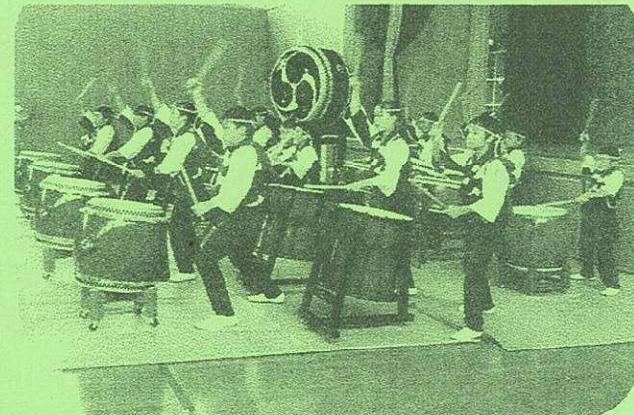
11月5日(日)「おのえきずなまつり」開催します！

「おのえきずなまつり」の延期について

去る9月17日(日)の「おのえきずなまつり」を台風18号の接近により、中止に致しました。地域構成員の皆さまには、ご迷惑をおかけしたことを、お詫びいたします。

台風の予報をかんがみ、体育館が地域の一時避難場所であることを考慮し、延期を致しました。**11月5日(日) 9:30～小野江小学校体育館にて**

皆さまには、少し寒くなる時期とは思いますが、「行ってみようか。」と、地域の皆さまとともに参観をしていただければ、主催者、出演協力者ともども、喜びに思います。



減災コラム その5

備えあれば、憂いなし

『クラッシュ症候群』(災害時特有の疾患)、約8時間以上、家屋や家具に挟まれていると、筋肉が破壊されて毒素を出し、救出時に開放されると、その毒素が体中に回ります。患者は一見元気なのですが、だんだん元気がなくなるころには、手遅れになっているのです。早期発見しかありません。症状としては、

- 1、尿がワインレッド色
- 2、体が浮腫んだり、腫れている。
- 3、手足がしびれて感覚がにぶっている。



などにより見分けることが出来ます。普段から救急救命に携わっている医者なら、これらを知っていますが、災害時には、専門外の医者も手当てに当たるので、気づかないかもしれません。こういう災害時特有の知識をもつことで、家族を助けることが出来るかもしれません。

脱水症状、避難所、避難場所で大きな問題になるのが、水不足やトイレ事情が悪いため、なるべく回数をおさえようと水分を飲まなくなり、そうすると脱水状態となり、血液が濃くなってきます。また、赤ちゃんの体は90%が水分ですから、水分の摂取が出来なければ、命の危機に陥ります。しかし、赤ちゃんは生水が飲めません。離乳食が終わる頃に始めて、生水を飲むことが出来るようになりますから、そのことを踏まえた対策が必要なのです。

私たちが出来るトリアージ(症状の判別) 指の爪を強く押さえて離します。赤みが2秒以内に戻れば正常です。もし戻らなければ、内出血など血液の循環が悪いことになり、重傷です。呼吸が1分間に30回以上あれば、肺に異常があるとみて重傷です。意識がなければ、脳に障害があるとみて重傷です。したがって定期的にチェックしていくことが大切です。

【おのえ住民協議会 安全推進委員 野崎 裕】

9月24日(日)おのえ健康ウォーキング

——飯高の「快い風」を受けて力強く歩きました——



「今日は、ええ日になってよかったなあ。」これは、受付時にあちこちで交わされた会話のこまです。

それもそのはず、今年の『健康ウォーキング』は小野江地域を飛び出し、飯高町を歩く内容なのです。ほぼ定員いっぱい参加者全員は、まるで子どもが遠足に出かけるような気分となり、朝から「わくわく」「どきどき」。楽しい会話と美しい自然を思いっきり楽しみながら、あっという間に飯高『道の駅』に到着。

私は、用意されたコースの中から「最長距離」を選びました。さあ、地元の方を先頭に、気心の知れた仲間とともに元気を出して出発です。

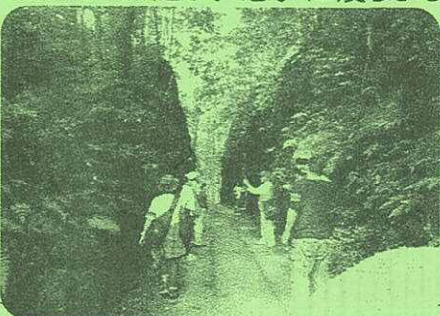
飯高「宮前の宿」は、和歌山街道の要所。伊勢と和歌山の方向を示す道標を確認した後、旧旅籠などの説明を受けながら一路、『珍布峠』へ。うっそうとした木立の中を峠に向かう行列の肩先に「若さ」と「力強さ」がみなぎります。私は、幕末体制下、参勤交代の行列を組んで、和歌山街道を進む紀州公を思い浮かべながら、大地を踏みしめていました。旧和歌山街道は、高見峠を越える難所中の難所。大名行列はもちろん、幾多の旅人の苦労は想像を絶します。

大正期に切り開かれた「珍布峠」、櫛田川に存在感を示す「礫石」、赤桶の「水屋神社」を見学しながら、昼には拠点の飯高『道の駅』に戻りました。

小野江が輩出した三雲の偉人「松浦武四郎」は、多気方面から和歌山別街道を歩いて飯南「粥見」に入り、旅籠に宿泊した翌日は櫛田川上流域で逗留し、「高見大峠」から山中を貫く和歌山街道を越えて、吉野に向かった記録を残しています。

私は、この経路を歩き、実際に現地を見聞したこともあり、今年の「健康ウォーキング」は、とても感慨深いものがありました。

道の駅では、「飯高山菜おこわ飯」を昼食としていただき、仲間と一緒に「バニラソフトクリーム」を口にして、嬉しい思い出に浸りました。



「よかったなあ。今日はよく眠れるなあ。」…こんな言葉を交わしながら、小野江に戻りました。

更に一言の会話が続き、「来年は何処に連れて行ってもらうかなあ。楽しみやなあ。」…

おのえ住民協議会の皆さま、すばらしい計画をありがとうございました。感謝でいっぱいです。

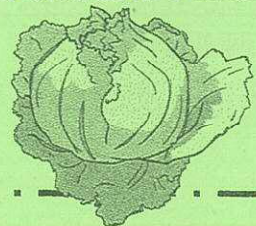
【小野江コミュニティセンター〔松浦武四郎記念館〕館長 中野 恭】

“家庭菜園”レタス・ブロッコリーの苗配布、好評でした！

9月25日から配布したブロッコリーとレタスの苗。初日、配布時間よりも早くから待って見える人もいました。連日、たくさんの方が、事務所に訪れ、配布期間の前半でなくなりました。約60人の方に、来ていただきました。

「今年は事務所の場所おしえてもらったから、取りに来られたわ。」「前にも苗もらったけど、大きく育ったので、今度もやってみようと思って。」「知ってる人から聞いて、やってみようと思って。」など、うれしい言葉をいただき、もっとたくさんの地域の皆さまに広がればいいなあと感じました。

好評だった苗の配布。次回も、何か皆さまに楽しんでいただけるものを、提供していきたいと考えております。



減災訓練 10月21日(土)

今年も10月21日(土)9時から雨天の中、体育館南広場において、減災訓練を実施した。今回は、地表が液状化し、歩行困難という想定で、簡易の通路を作成するというものである。各組3人で、5組に区分して、橋梁を作成し、地域の人の通行を確立させる。今まで、正式な土のうを作ったことがないので、その重さと葛闘しながら、約30kgの土のう約250個を作成させ、引き続き、その土のうを使用し、橋座(橋脚)の強度を保つ工夫をしながら、土のうを積み上げ、橋梁を完成させ、自分たちで割った橋を渡って感動していた。

ひき続き、10時45分からは、ロープの結束を実施して、11時40分頃予定を終了し、炊き出しで、炊き込みご飯を訓練参加者に配分して、すべての訓練を終了した。実際の災害は人の都合では起こりません。起こった場合は、最悪の状況です。被災地において、勇気と元気をいただけるのは、“地域の人々の協働と助け合い”である。今回の訓練に参加していただかなかった方も、出来れば、これからの地域の行事等(訓練)に参加していただき、“安全、安心な”おのえ地域になることを、心から思っています。

「重たいよ〜。でも運びますよ！」

「頭の中がこんがらがって(ー)」「見ているときは、わかってるけどやってみるとできないよ〜。」

土のう訓練

「やったー。完成したぞ〜。」
皆で、完成した橋を渡り初めだ！」

ロープ結束

「このくらいいいんじゃない。」
「まだ土の量が少ないよ。スコップにあと3杯入れてー。」
「え〜うど〜。」

「やっど、できるようになりました。」「やっぱり、見るより、経験して、体で覚えるのが一番ですね〜。」

平成29年度 第11回 小野江地区ふれあいフェスタ！

～小野江地域のみなさま、ご来場とご参加、ご協力をありがとうございました～

晴天のこの日、子どもたちの歓声がひびき、虹色のシャボン玉が青空を彩り、フェスタがスタートしました。今年度は、“小運動会”をリニューアル！

開催日：10月1日(日)
開催場所：小野江小学校



シャボン玉

樽ころがし競技

実行委員会での反応は様々。

「そんな大きいもの、転がせるん？」(頭の中は、ワイン樽！)。実物を前に、「これ、何の樽？」「棒、使うん…」と興味津々。でも、少し(?)前までは、運動会の定番競技だったんですよ。「なつかしい〜」という方は、素早く転がし、ゴール！

投げてキャッチ

考案から作製まですべて手作りの新競技。ボールを投げて的に当て、飛んできたボールをとる、という競技。コツがいり、悔しくて何度も挑戦したくなり、皆さん楽しんでくださいました。

実行委員会では、この日までに、会議や打ち合わせを重ね、様々な試作や草刈り整備、借用物や買い物などの準備をしました。また、当日は、消防団をはじめ、たくさんのボランティアの方々にご協力いただきました。

今年は、“キッズファーマーズ”(公民館講座)の子どもたちもお手伝い。焼き芋と農産物の販売をがんばってくれました。「とても楽しかった。」(子どもたちより)。「声をかけてくださったり、ほめてくださったり」と、小野江の方々、あったかいです。(保護者の方より) ちいさなドラマがいくつもあったようです。 また来年、お楽しみに！



樽ころがし

やっぱり、お上手！